【講座カリキュラム】

講座実施団体:認定 NPO 法人神奈川被害者支援センター

7/6(金)	時性がプイエンム 神性大心団体・心足 NI O 仏代下が川阪古日文版 C フラ						
1 10:00 2							
~16:00	1	10:00					
サポートステーション見学 神奈川被害者支援センター カウンセラー 生方 智恵子 神奈川県くらし安全が災局くらし安全が災局くらし安全が災局 (ちし安全交通課 横浜駐在所 横浜市市民局人権課犯罪被害者相談室 神奈川県・10日安全が災局くらし安全が災局 (ちし安全交通課 横浜駐在所 横浜市市民局人権課犯罪被害者相談室 神奈川県・10日安全が災局 (ちし安全交通課 横浜駐在所 横浜市市民局人権課犯罪被害者相談室 神奈川県・10日安全が災局 (おして 被害者遺族の声を聴く グループワーク 性犯罪について 神奈川県・10日安全が災害・10日安全が災害・10日安全が災害・10日安全が災害・10日安全が災害・10日安全が災害・10日安全が災害・10日安全が災害・10日安全が災害・10日安全が災害・10日安全が災害・10日安全が災害・10日安全が災害・10日安全が必要・10日安全が災害を禁むが害・10日安全が災害を禁むが害・10日安全が災害を禁むが害・10日安全が、10日安を対しませ、10日安全が、10日安全が、10日安全が、10日安全が、10日安全が、10日安全が、10日安全が、10日安全が、10日安全が、10日安全が、10日安全が、10日安全が、10日安全をが、10日安全が、10日安全が、10日安全をが、10日安全が、10日安全をが、10日安全をが、10日安全をが、10日安全をが、10日安全をが、10日安全をが、10日安全をが、10日安全をが、10日安全をが、10日安をが、1							
2 7/13(金) がなが犯罪被害者サポートステーションの支援制度 地方公共団体の取組み 横浜市市民局人権課犯罪被害者相談室 神奈川県弁護士会 弁護士 サポートステーションにおける法律相談について 投書道族の声を聴く グループワーク 神奈川県警察本部光語安全部少年育成課少年相談・保護センター 神奈川県警察本部別事部捜査第一限性犯罪捜査係 神奈川県警察本部別事部捜査第一課性犯罪捜査係 神奈川県警察本部別事部捜査第一課性犯罪捜査係 神奈川県警察本部出語安全部少年育成課少年相談・保護センター 東奈川県警察本部出語安全部少年育成課少年相談・保護センター 東奈川県警察本部出語安全部少年育成課少年相談・保護センター 東奈川県警察本部出語安全部少年育成課少年相談・保護センター 東奈川県警察本部出語安全部少年育成課少年相談・保護センター 東奈川県警察本部出語安全の少年で記録・保護センター 西田 節子 横浜保護観察所 企画調整課長 被害者担当保護司 臨床心理士 宮森 孝史 空通事的相談について 海費生活センターの役割と業務・最近の相談事例について 海豚・川県管察本部・大事代与の上の支援者の自己理解 中奈川県と野森本部交通の全主が 消費生活課 消費生活専門相談員 臨床心理士 十四 モトチ 京平成大学現代ライフ学部人間文化学科教授 大塚 淳子 国家には土 小西 典子 中奈川県警察本部交通搜査課 中奈川県警察本部交通投査課 神奈川県警察本部交通投資課 神奈川県警察本部交通投資 神奈川県警察本部交通投資課 神奈川県警察本部交通り安全対策課配偶者暴力対策係 接別付金 被害者適族の声を聞く グルーブワーク 被害者遺族の声を聞く 初ルーブワーク 被害者遺族の声を聞く 初ルーブワーク 被害者遺族の声を聞く 初ルーブワーク 神奈川被害者支援センター 犯罪被害相談員 橋谷田 清美神奈川被害者支援センター							
2							
2	2						
# 地方公共団体の取組み 横浜市市民局人権課犯罪被害者相談室 神奈川県弁護士会 弁護士 神奈川県発護士会 弁護士 神奈川県発護士会 弁護士 神奈川県発護士会 弁護士 ヤスター サポートステーションにおける法律相談について 被害者遺族の声を聴く グループワーク 神奈川県警察本部刑事部捜査第一課性犯罪捜査係 神奈川県警察本部刑事部捜査第一課性犯罪捜査係 神奈川県警察本部刑事部捜査第一課性犯罪捜査係 神奈川県警察本部生活安全部少年育成課少年相談・保護センター 英国公認心理カウンセラー 前田 節子 一方 を選手数付款について 消費生活度・消費生活度・消費生活度・消費生活専門相談員 臨床心理士 宮森 孝史 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 日 下 子 「			かながわ犯罪被害者サポートステーションの支援制度				
7/20(金)							
3							
7/27(金)	3			神奈川県弁護士会 弁護士			
# 被害者遺族の声を聴く							
4							
4							
##: おりまり できまり できまって		11					
5 8/3(金) 更生保護における犯罪被害者支援 横浜保護観察所 企画調整課長 被害者担当保護司 臨床心理士 宮森 孝史 交通事故相談について 消費生活センターの役割と業務・最近の相談事例について 消費生活理、消費生活理、消費生活専門相談員 臨床心理士 有田 モト子 有田 モト子 支援とはなにか 支援者の自己理解 方で 立て 立て 立て 立て 立て 立て 立て 立	4						
核害者の受ける二次的被害 臨床心理士 宮森 孝史 元自賠責保険調査事務所 調査役 田邉 克彦 清費生活センターの役割と業務・最近の相談事例について 福藤と共感・電話相談の特性について 福藤・心理士 有田 モト子 支援とはなにか 支援者の自己理解 東京・本奈川県等察本部交通部交通捜査課 東京・本奈川県警察本部生活安全部人身安全対策課配偶者暴力対策係 医療機関との連携 東京・本奈川県警察本部生活安全部人身安全対策課配偶者暴力対策係 東京・大学現代ライフ学部人間文化学科教授 大塚 淳子 東京・本奈川県警察本部を通部交通捜査課 東京・本奈川県警察本部生活安全部人身安全対策課配偶者暴力対策係 東京・大学現代ライフ学部人間文化学科教授 大塚 淳子 東京・本奈川県警察本部生活安全部人身安全対策課配偶者暴力対策係 東京・大学現代ライフ学部人間文化学科教授 大塚 淳子 東京・北京・大学現代ライフ学部人間文化学科教授 大塚 淳子 東京・北京・本奈川県警察本部生活安全部人身安全対策課配偶者暴力対策係 東京・北京・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・							
# 被害者の受ける二次的被害 臨床心理士 宮森 孝史 交通事故相談について 元自賠責保険調査事務所 調査役 田邉 克彦 神奈川県くらし安全防災局くらし安全部 消費生活専門相談員 [・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	5	8/3(金)					
8/24(金) 消費生活センターの役割と業務・最近の相談事例について 神奈川県くらし安全防災局くらし安全部 消費生活専門相談員 臨床心理士 有田 モト子 有田 モト子 京装とはなにか 支援とはなにか 支援者の自己理解 京通悪質事故の実態 D V・ストーカー犯罪の実態 医療機関との連携 夜三番音遺族の声を聞く アリーク で書者遺族の声を聞く アリーク で書きる終えて(筆記)、グループワーク で書きる終えて(筆記)、グループワーク 現まると表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表		11					
10 10 10 10 10 10 10 10							
# 消費生活課 消費生活課 消費生活専門相談員 臨床心理士 有田 モト子 支援とはなにか 支援者の自己理解	6		消費生活センターの役割と業務・最近の相談事例について				
7 8/31(金) 支援とはなにか 支援者の自己理解 一							
7 " 支援者の自己理解 臨床心理士 小西 典子 8 9/7(金) " 交通悪質事故の実態							
8 9/7(金) グ通悪質事故の実態 神奈川県警察本部交通部交通捜査課 神奈川県警察本部生活安全部人身安全対策課配偶者暴力対策係 医療機関との連携 横浜市青葉区福祉保健センター所長 医師 勝島 聡一郎 8/14(金) では書者の状況/グループワーク 被害者遺族の声を聞く グループワーク で話相談受理から、直接支援への流れと実際 講習を終えて(筆記)、グループワーク 神奈川被害者支援センター 犯罪被害相談員 橋谷田 清美神奈川被害者支援センター 別講式	7	8/31(金)	- 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1				
8		11					
8		,					
9 9/14(金) 被害者の状況/グループワーク 被害者遺族の声を聞く 犯罪被害者遺族 神奈川被害者支援センター 電話相談受理から、直接支援への流れと実際 講習を終えて(筆記)、グループワーク 神奈川被害者支援センター 犯罪被害相談員 橋谷田 清美 神奈川被害者支援センター 別講式	8						
9 9/14(金) 被害者遺族の声を聞く 犯罪被害者遺族							
10 10 (報告有遺族の戸を闻く		9/14(金) "					
9/21(金) 電話相談受理から、直接支援への流れと実際 神奈川被害者支援センター 犯罪被害相談員 橋谷田 清美 講習を終えて(筆記)、グループワーク 神奈川被害者支援センター 閉講式	9						
10 9/21(金) 講習を終えて(筆記)、グループワーク 神奈川被害者支援センター 別講式							
10 一	10	9/21(金)					
				神奈川被害者支援センター			

※カリキュラム・講師は都合により変更になる場合があります。

【受講対象】 神奈川県に在住・在勤・在学の方、県内でボランティアや NPO 等活動をしている方、活動を始めたい方

【お申込期限】

6月21日(木)

※応募者多数の場合は抽選、定員に達しない場合は引き続き先着順で受付けます。

【受講決定・受講料の納付方法】

募集期間終了後、定員を超えた講座は抽選を行い、受講申込みされた方全員に**受講の可否**を郵送でお知らせします。 受講が決まった方に納付書をお送りしますので、受講料を最寄りの金融機関で納付してください。

かながわコミュニティカレッジ講座 受講申込書(FAX 申込用)

「犯罪被害者支援ボランティア養成講座(初中級)」 FAX 送信先: 045-620-0745

お名前	(団体申込みの場合は、団体名および代表者名)						
ご住所							
連絡先	TEL		FAX				
ZE/11/0	e-mail			パソコンからのメール 受信可能なもの			